

# ▶19日 土曜

## 出エジプト

28:15 あなたはさばきの胸当てを、巧みな細工で作る。それをエポデの細工と同じように作らなければならない。すなわち、金色や、青色、紫色、緋色の燃り糸、それに燃り糸で織った亜麻布で作らなければならない。

28:16 それは、四角形で、二重にし、長さは一あたり、幅は一あたりとしなければならない。

28:17 その中に、宝石をはめ込み、宝石を四列にする。すなわち、第一列は赤めのう、トパーズ、エメラルド。

28:18 第二列はトルコ玉、サファイヤ、ダイヤモンド。

28:19 第三列はヒヤシンス石、めのう、紫水晶、

28:20 第四列は緑柱石、しまめのう、碧玉。これらを金のわくにはめ込まなければならぬ。

28:21 この宝石はイスラエルの子らの名によるもので、彼らの名にしたがい十二個でなければならない。十二部族のために、その印の彫り物が一つの名につき一つずつ、なければならない。

28:22 また編んで撚った純金の鎖を胸当てにつける。

28:23 胸当てに、金の環二個をつけ、その二個の環を胸当ての両端につける。

28:24 この二筋の金のひもを胸当ての両端の二個の環につける。

28:25 その二筋のひもの他の端を、先の二つのわくにつけ、エポデの肩当てに外側に向くようにつけなければならない。

28:26 ほかに二個の金の環を作り、これを胸



Bible Reference  
聖書の記述

当ての両端、すなわち、エポデの前に来る胸当ての内側の縁につける。

28:27 ほかに二個の金の環を作り、これをエポデの二つの肩当ての下端の外側に、すなわち、エポデのあや織りの帯の上部の継ぎ目に接した面の上につける。

28:28 胸当ては、青ひもで、その環のところをエポデの環に結びつけ、エポデのあや織りの帯の上にあるようにする。胸当てがエポデからずり落ちないようにしなければならない。

28:29 アロンが聖所にはいるときには、さばきの胸当てにあるイスラエルの子らの名をその胸の上に載せ、絶えず主の前で記念としなければならない。

28:30 さばきの胸当てには、ウリムとトンミムを入れ、アロンが主の前に出るときに、それがアロンの胸の上にあるようにする。アロンは絶えず主の前に、イスラエルの子らのさばきを、その胸の上に載せる。

さばきの胸当てにはイスラエルの部族を表す宝石がはめ込まれました。イスラエルと同じく神の民である私たちもまた、神様の目には宝石のように尊いものです。

神のさばきは恐ろしいものではなく、むしろ私たちを宝石のように大切に扱ってくださるものなのです。安心して主のなされることに委ねましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

